

用途

- ①スクイズ工法におけるスクイズプレート(D52S、DG、B2)の取り付け
- ②スクイズ工法におけるひび割れ部のシール

特長

- ①スクイズプレート(D52S、DG、B2)の取り付け、ひび割れ部のシールの両方に使用できます。
- ②無溶剤タイプで100%硬化し、ほとんど収縮せず充填接着に優れています。
- ③速硬化タイプです。
- ④ホルムアルデヒド規制対象外です(JAIA F☆☆☆☆)。

性状

項目	主剤(A剤)	硬化剤(B剤)	測定方法
主成分	エポキシ樹脂	ポリチオール	
外観	白色揺変状	黒色揺変状	目視
配合	主剤:硬化剤=1:1		重量比
比重	1.2~1.6		JIS K 6833
可使用時間	40分以内		20g/23°C
塗膜硬化時間	70分以内		ドライニングレコーダ23°C

経時引張せん断接着強さ(JIS K 6850 23°C)

	経過時間				
	15分	30分	45分	1時間	2時間
引張せん断接着強さ (N/mm ²)	----	----	3.0	5.6	9.3

(鋼板SS-400 サンドブラスト処理)

使用方法

- ①スクイズプレート(D52S、DG、B2)の取り付け部、ひび割れ部の油、埃、錆などを取り除き、十分に乾燥させます。
- ②スクイズパテ#30の主剤と硬化剤を1:1の重量割合で正確に計量して十分に攪拌混合する。
- ③スクイズプレートにスクイズパテ#30をヘラを用いて均等に盛りつける。
- ④スクイズプレートをコンクリート面に圧着した後、プレートからはみ出たスクイズパテ#30をヘラで廻りを押さえてプレートのツバにかぶせます。
- ④プレート間のひび割れは、スクイズパテ#30で完璧にシールします。
■シール幅:20~30mm、シール厚:2~3mm
- ⑤スクイズパテ#30が硬化するまで養生します(注入開始可能時間の目安参照)。
- ⑥スクイズパテ#30が硬化後、注入材を充填します。
- ⑦注入材が硬化後にスクイズプレート、スクイズパテ#30を除去する。

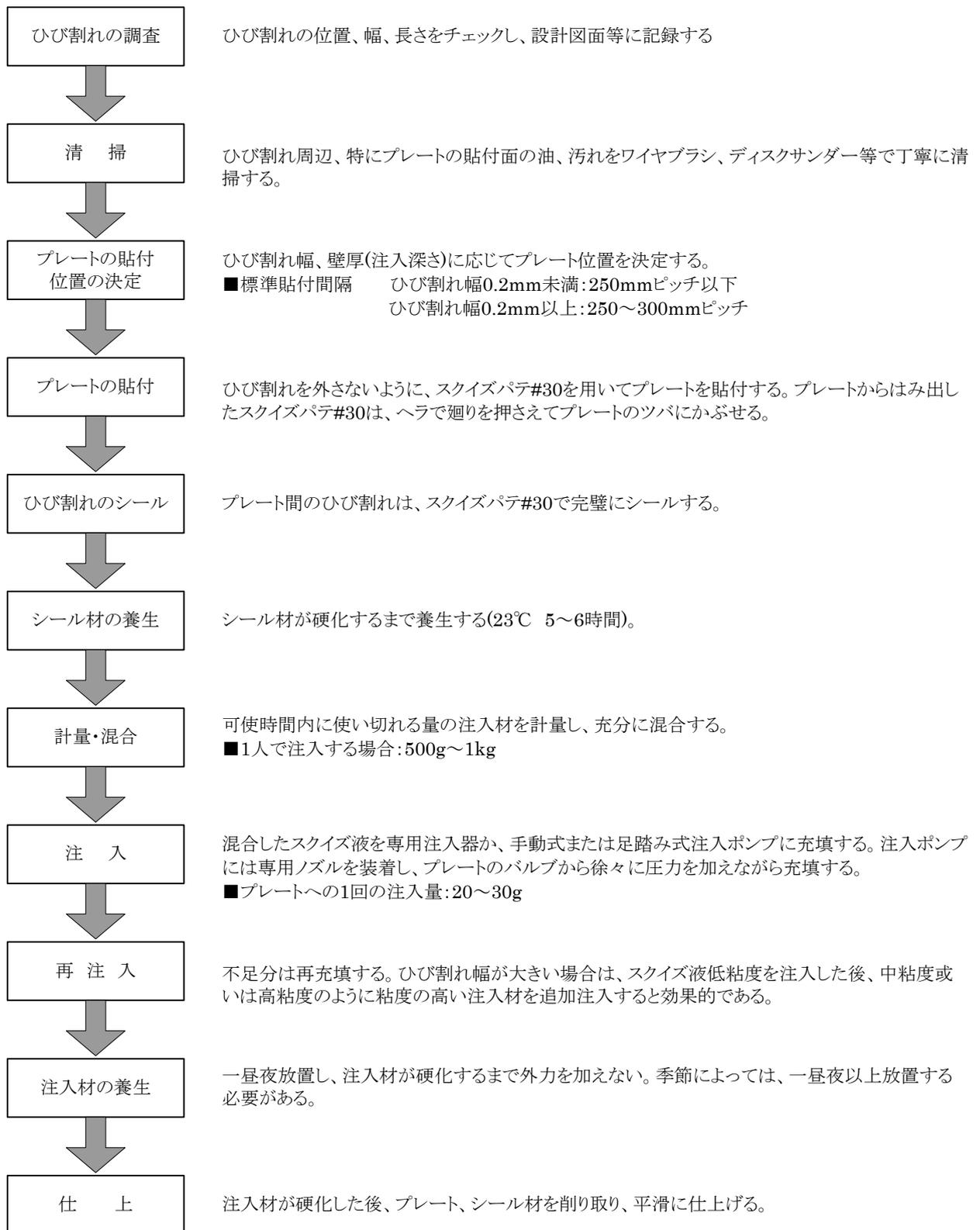
注意事項

- ①作業場所は十分に換気し、保護具等を着用して下さい。
- ②作業服、工具に付着した樹脂は速やかに除去して下さい。
- ③体質によってはかぶれることがありますので、保護具等を着用し、皮膚に付着した場合には直ちに、石鹸水で洗い流して下さい。
- ④皮膚障害、呼吸障害が見られるときは、必要に応じて医師に診察を受けて下さい。
- ⑤使用後は容器の蓋を閉めて冷暗所に保管して下さい。

梱包仕様

10セット/箱、1セット(主剤[A剤]:500g、硬化剤[B剤]:500g)

スクイズ工法の標準施工要領



警 告

※健康に有害な物質を含有しています。かぶれやすい物質です。
※使用にあたっては、安全データシート(SDS)をお読み下さい。